



平成19年8月3日

各位

会社名 ハイブリッド・サービス株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 永瀬 則幸  
 (JASDAQ・コード2743)  
 問合せ先 取締役業務部長 新倉 敏美  
 電話番号 03-3262-6827

## 平成19年12月期中間(連結・単独)業績予想との差異 及び通期(連結・単独)業績予想の修正に関するお知らせ

平成19年12月期(平成19年1月1日~平成19年12月31日)の業績予想について、平成19年4月27日付当社「平成19年12月期 第1四半期財務・業績の概況(連結)」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

### 1. 平成19年12月期 連結業績予想の修正等

#### (1) 中間期(平成19年1月1日~平成19年6月30日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回予想(A)	12,500	305	164
今回修正(B)	12,232	10	35
増減額(B-A)	268	295	199
増減率	2.1%	96.7%	-

#### (2) 修正理由

売上高につきましては、当社グループの主力事業が属するオフィス用品業界のマーケティングサプライ品(プリンタ印字廻りの消耗品)市場におきましては、法人向けパソコンの出荷が低調に推移している影響を受け、プリンタの販売は低迷し、消耗品でありますトナーカートリッジにおきましても、カラートナーカートリッジの伸長はあるもののモノクロトナーカートリッジの落込みをカバーするには至らず当初予想を6億19百万円下回る80億57百万円(当初予想比7.1%減)となる見込みであります。

トナーカートリッジ以外の商品につきましては、OA用紙、MRO等の増加により当初予想を3億51百万円上回る41億75百万円(同9.2%増)となる見込みであります。

その結果、当中間期の連結売上高は、当初予想を2億68百万円下回り122億32百万円(同2.1%減)となる見込みであります。

経常利益につきましては、企業間での激しい価格競争等による売上総利益率の低下により売上総利益が押し下げられたことに加え、業界内での自然淘汰がさらに進むことが懸念される状況において債権に対する貸倒引当金を積み増したことにより、販売費及び一般管理費が大幅に増加し、結果として経常利益は当初予想を2億95百万円下回り10百万円(同96.7%減)となる見込みであります。

中間純利益につきましては、平成19年6月4日付「債権の取立不能または取立遅延のおそれに関するお知らせ」にて開示しております通り、当中間期において、民事再生法手続開始の申立てを行った取引先に対する債権について、貸倒引当金として回収不能見込額の全額を特別損失に計上したことにより、当初予想を1億99百万円下回り35百万円の損失となる見込みであります。

(3) 通期(平成19年1月1日~平成19年12月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	26,100	694	384
今回修正(B)	24,540	346	156
増減額(B-A)	1,560	348	228
増減率	6.0%	50.1%	59.4%

(4) 修正理由

売上高につきましては、上期同様モノクロトナーの減少が見込まれるため、カラートナー、その他の商品の売上高の増加を考慮しても当初予想との比較におきましては、15億60百万円下回る24億5400百万円(当初予想比6.0%減)と見込んでおります。

経常利益につきましては、売上高の減少ならびに上期の売上総利益率の低迷により売上総利益が大幅に減少し、当初予想を3億48百万円下回る3億46百万円(同50.1%減)となる見通しです。

当期純利益につきましては、上記の理由により、当初予想を2億28百万円下回る1億56百万円(同59.4%減)となる見通しです。

(5) ご参考:前期の実績(平成18年1月1日~平成18年12月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
中間期(1/1~6/30)	11,822	267	152
通期(1/1~12/31)	24,901	476	347

2.平成19年12月期 単独業績予想の修正等

(1) 中間期(平成19年1月1日~平成19年6月30日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回予想(A)	12,000	299	178
今回修正(B)	11,833	49	15
増減額(B-A)	167	250	163
増減率	1.4%	83.6%	91.6%

(2) 修正理由

前記「1.平成19年12月期 連結業績予想の修正等 (2)修正理由」と同様の理由により、売上高につきましては、当初予想を1億67百万円下回る11億33百万円(当初予想比1.4%減)、経常利益につきましては、当初予想を2億50百万円下回る49百万円(同83.6%減)、中間純利益につきましては、当初予想を1億63百万円下回る15百万円(同91.6%減)となる見込みであります。

(3) 通期(平成19年1月1日~平成19年12月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	25,000	624	370
今回修正(B)	23,500	323	181
増減額(B-A)	1,500	301	189
増減率	6.0%	48.2%	51.1%

(4) 修正の理由

前記「1.平成19年12月期 連結業績予想の修正等 (4)修正理由」と同様の理由により、売上高につきましては、当初予想を15億円下回る235億円(当初予想比6.0%減)、経常利益につきましては、当初予想を3億1百万円下回る3億23百万円(同48.2%減)、当期純利益につきましては、当初予想を1億89百万円下回る1億81百万円(同51.1%減)となる見込みであります。

(5) ご参考：前期の実績(平成18年1月1日～平成18年12月31日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
中間期(1/1～6/30)	11,739	286	174
通期(1/1～12/31)	24,354	519	317

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の決算数値は、上記予想と異なる場合がございます。

以 上